

# 外国人に選ばれるまち『しまね』を目指して

## —多文化共生の視点に立った地域活性化—

島根県立大学浜田キャンパス

国際関係学部 国際関係学科

国際関係コース

雨宮和佳奈

内山晶太

戸田莉生

国際コミュニケーションコース

民木 優

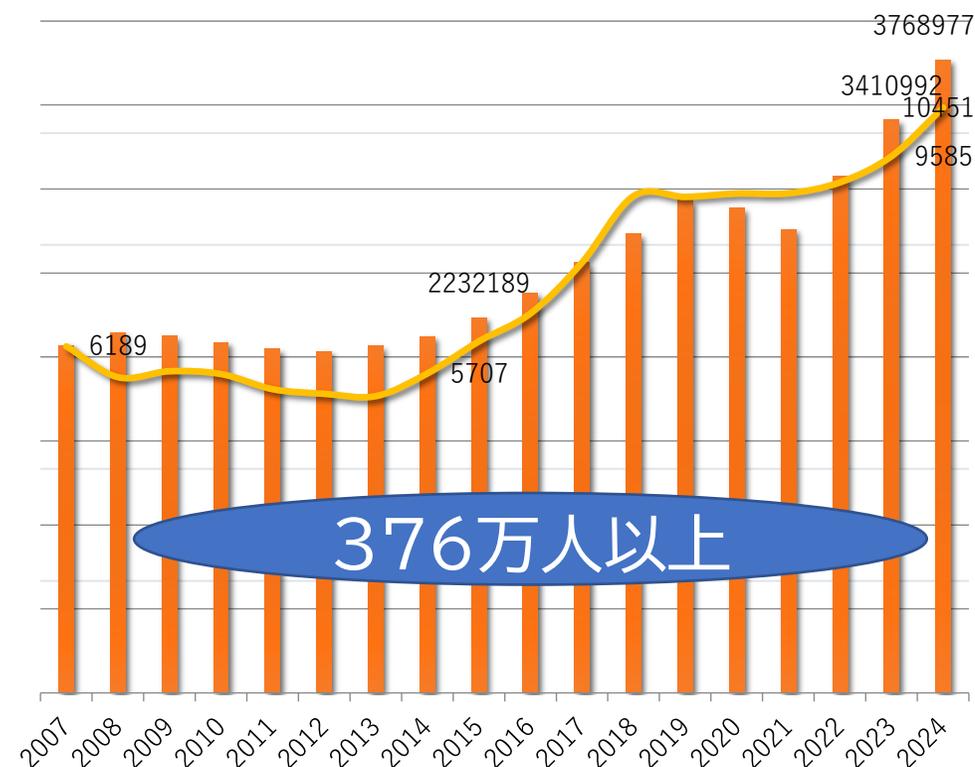
永見由奈

基礎教養部講師 田中典枝

# 1. 活動の背景:問題の所在

近年の日本国内における人口減少や企業の人手不足を解消するために外国人労働者の受入は拡大されてきました。日本国内の外国人住民は令和7年1月時点で376万人を超えており、10年前と比較して1.7倍に増加しています。島根県内も同様にその数は増加傾向にあり、令和7年1月時点で1万451人の過去最多を記録しました。

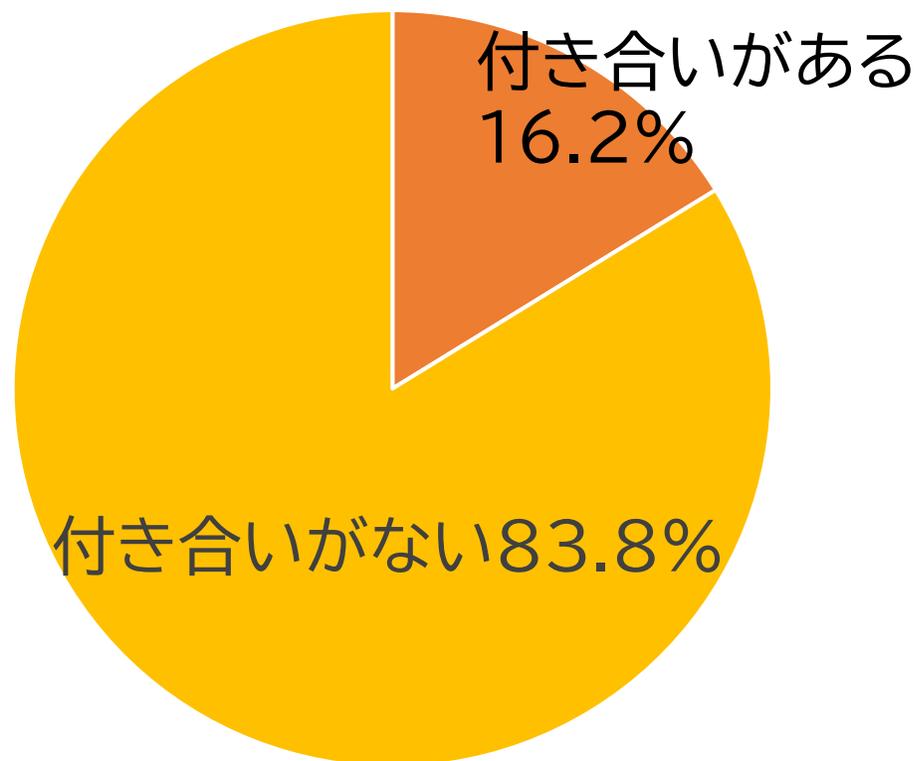
在留外国人数の推移



出典：島根県（2025）『多文化共生の推進』をもとに内山作成

外国人住民の人数過去最多

# 1. 活動の背景:問題の所在



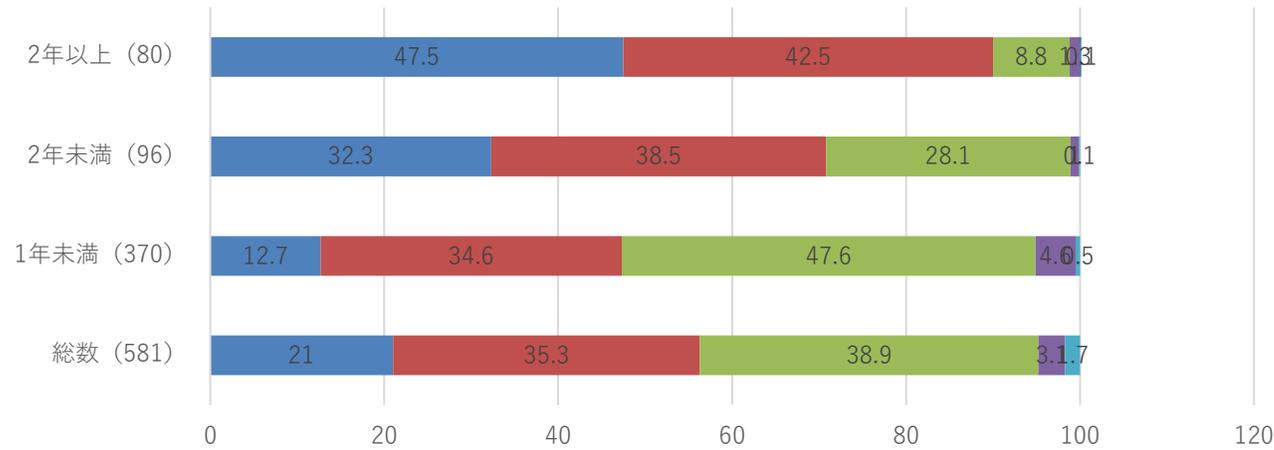
「地域に暮らしている外国人と付き合いがありますか？」

出典：大正大学地域構想研究所（2024）『地方圏外国人集住市町村における住民調査』をもとに内山作成

## 外国人と日本人のつながり **希薄**

外国人住民が増加する一方で、彼らと日本人住民のつながりが希薄であることが左のグラフから読み取れます。グラフは大正大学地域構想研究所による、外国人が住民の20人に1人もしくはそれ以上である地方圏の市町村の住民を対象に、外国人との付き合いについて把握するためのインターネット調査の結果です。

# 1. 活動の背景:問題の所在



	総数 (581)	1年未満 (370)	2年未満 (96)	2年以上 (80)
よく分かる	21	12.7	32.3	47.5
半分くらい分かる	35.3	34.6	38.5	42.5
少し分かる	38.9	47.6	28.1	8.8
全然分からない	3.1	4.6	1	1.3
無回答	1.7	0.5	0.1	0.1

## 日本語の聞き取り

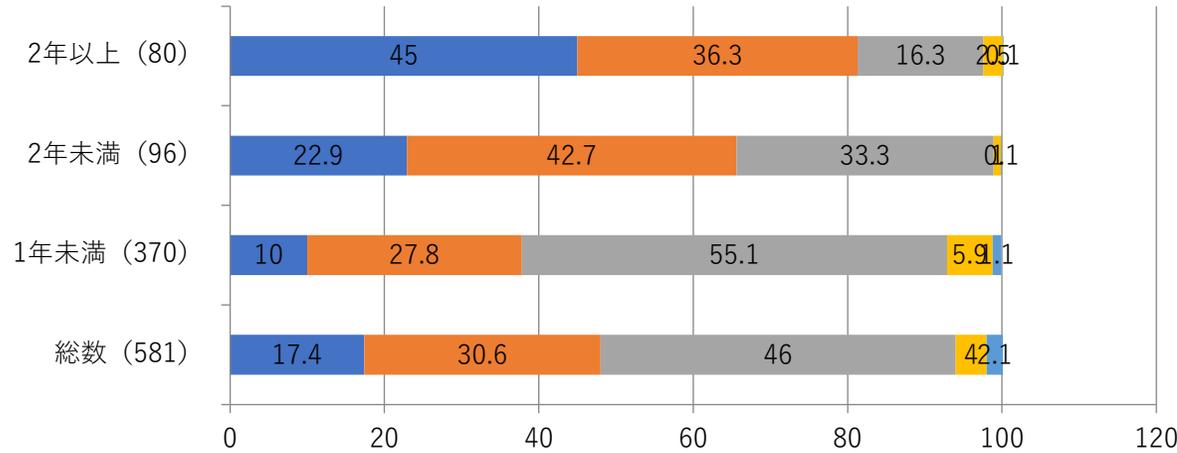
少し分かる: 38.9%  
 半分くらい分かる: 35.3%  
 よく分かる: 21%



十分習得できていない

出典：出入国在留管理庁（2022）『在留外国人に対する基礎調査（令和3年度）調査結果報告書』をもとに内山作成

# 1. 活動の背景:問題の所在



	総数 (581)	1年未満 (370)	2年未満 (96)	2年以上 (80)
十分に話せる	17.4	10	22.9	45
半分くらい話せる	30.6	27.8	42.7	36.3
少し話せる	46	55.1	33.3	16.3
全然話せない	4	5.9	1	2.5
無回答	2.1	1.1	0.1	0.1

## 日本語での会話力

少し話せる: 46%  
 半分くらい話せる: 30.6%  
 よく分かる: 17.4%



**コミュニケーションに支障  
 の可能性**

出典：出入国在留管理庁（2022）『在留外国人に対する基礎調査（令和3年度）調査結果報告書』をもとに内山作成

# 1. 活動の背景:問題の所在

日本語学習者が日本語を話す場を設定



語学の実践の回数を増やす

日本人と接する機会を与える



多文化共生社会で生きるための対策

## 2. やさしい日本語とは

### やさしい日本語

文法・言葉のレベルや文章の長さに配慮し、**わかりやすくした日本語**

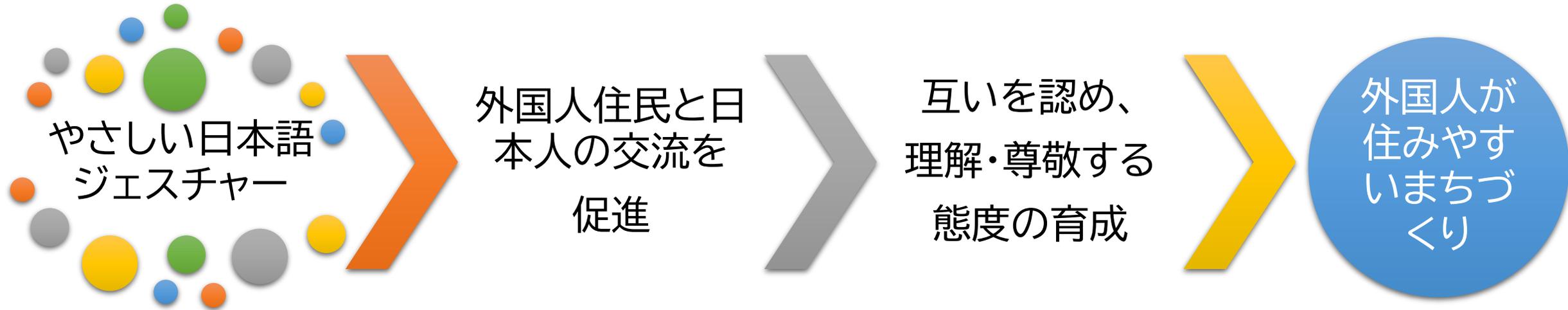
例)「土足厳禁」 ⇒ 「靴を脱いでください」

出典:東京都多文化共生ポータルサイト『やさしい日本語』

阪神・淡路大震災:**多くの外国人が被災**

外国人にも**迅速に正しい情報を伝えるための手段**

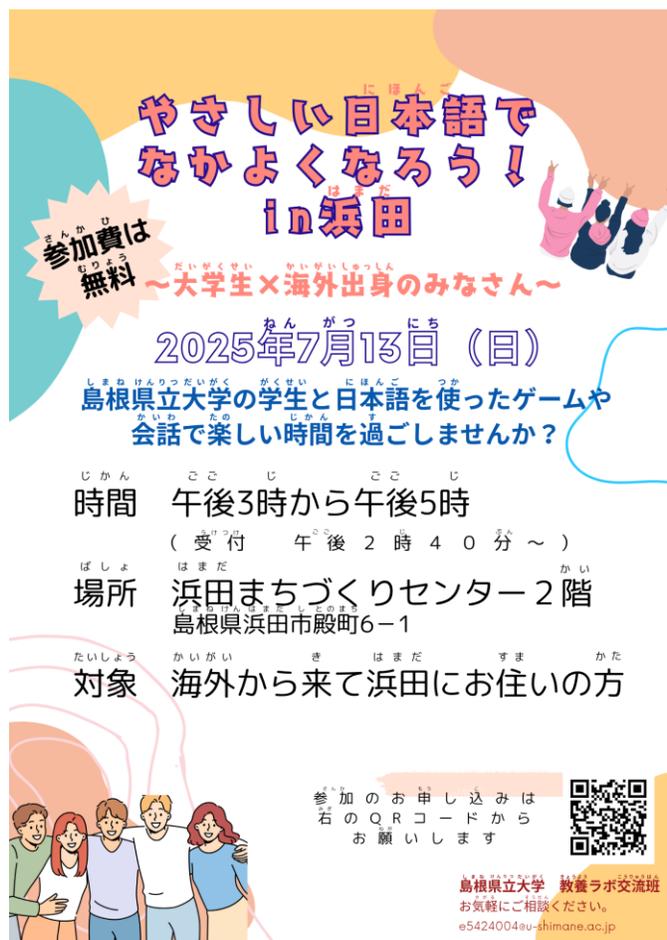
### 3. 活動の目的



多文化社会で外国人と日本人が  
共生するための取り組み

## 4. 春学期の活動 I

### 第1回「やさしい日本語で仲良くなろう in 浜田」



**やさしい日本語で  
なかよくなろう!  
in 浜田**

参加費は  
無料  
～大学生×海外出身のみなさん～

2025年7月13日(日)  
島根県立大学の学生と日本語を使ったゲームや  
会話で楽しい時間を過ごしませんか?

時間 午後3時から午後5時  
(受付 午後2時40分～)

場所 浜田まちづくりセンター2階  
島根県浜田市殿町6-1

対象 海外から来て浜田にお住まいの方

参加のお申し込みは  
右のQRコードから  
お願いします

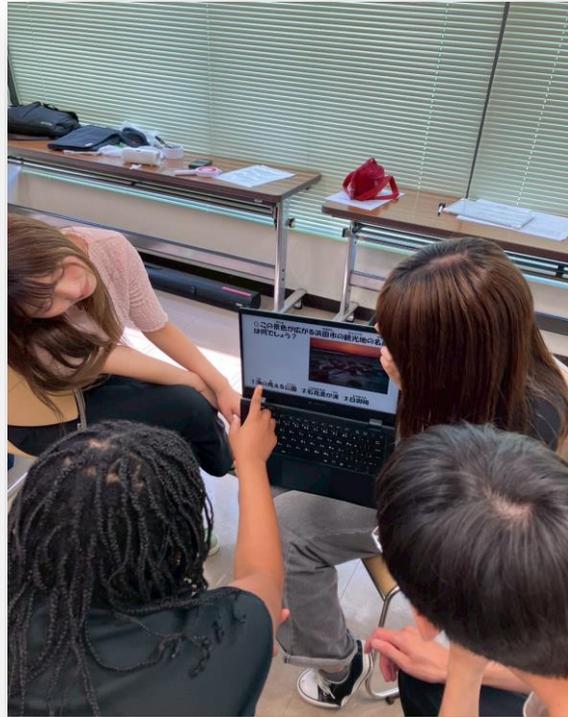
島根県立大学 教養ラボ交流班  
お気軽にご相談ください。  
e5424004eu-shimane.ac.jp

1. 実施日・・・令和7年7月13日(日)
2. 実施内容
  - ・やさしい日本語でジェスチャー伝言ゲーム
  - ・島根県&浜田市に関するクイズ
  - ・他己紹介

## 4. 春学期の活動I



他己紹介



クイズ大会



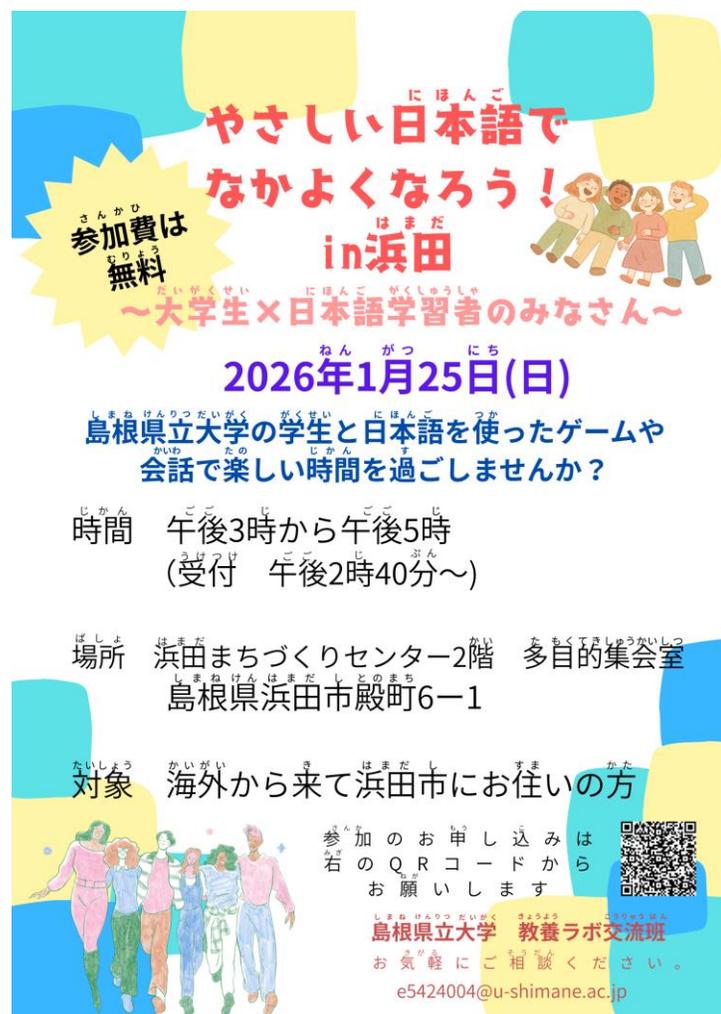
ジェスチャー伝言ゲーム

## 4. 春学期の活動

	参加者	人数	参加者国籍詳細
1	日本語学習者	8名	アメリカ(3名)・フィリピン(4名)・中国(1人)
2	日本語話者	8名	大学生に限定

## 5. 秋学期の活動

### 第2回「やさしい日本語で仲良くなろう in 浜田」



やさしい日本語で  
なかよくなろう!  
in 浜田  
～大学生×日本語学習者のみなさん～  
2026年1月25日(日)  
島根県立大学の学生と日本語を使ったゲームや  
会話で楽しい時間を過ごしませんか?  
時間 午後3時から午後5時  
(受付 午後2時40分～)  
場所 浜田まちづくりセンター2階 多目的集会室  
島根県浜田市殿町6-1  
対象 海外から来て浜田市にお住まいの方  
参加のお申し込みは  
右のQRコードから  
お願いします  
島根県立大学 教養ラボ交流班  
お気軽にご相談ください。  
e5424004@u-shimane.ac.jp

#### 実施内容

1. やさしい日本語でお絵かき大会  
⇒言葉を用いないピクショナリーゲームでアイスブレイク
2. 防災クイズ  
⇒やさしい日本語を用いながら防災に関するクイズ
3. 他己紹介  
⇒参加者同士で自己紹介し、  
その後ほかの参加者に向けてペアの人の紹介

## 5. 秋学期の活動



防災クイズ



他己紹介



やさしい日本語でピクシヨナリー

## 5. 秋学期の活動

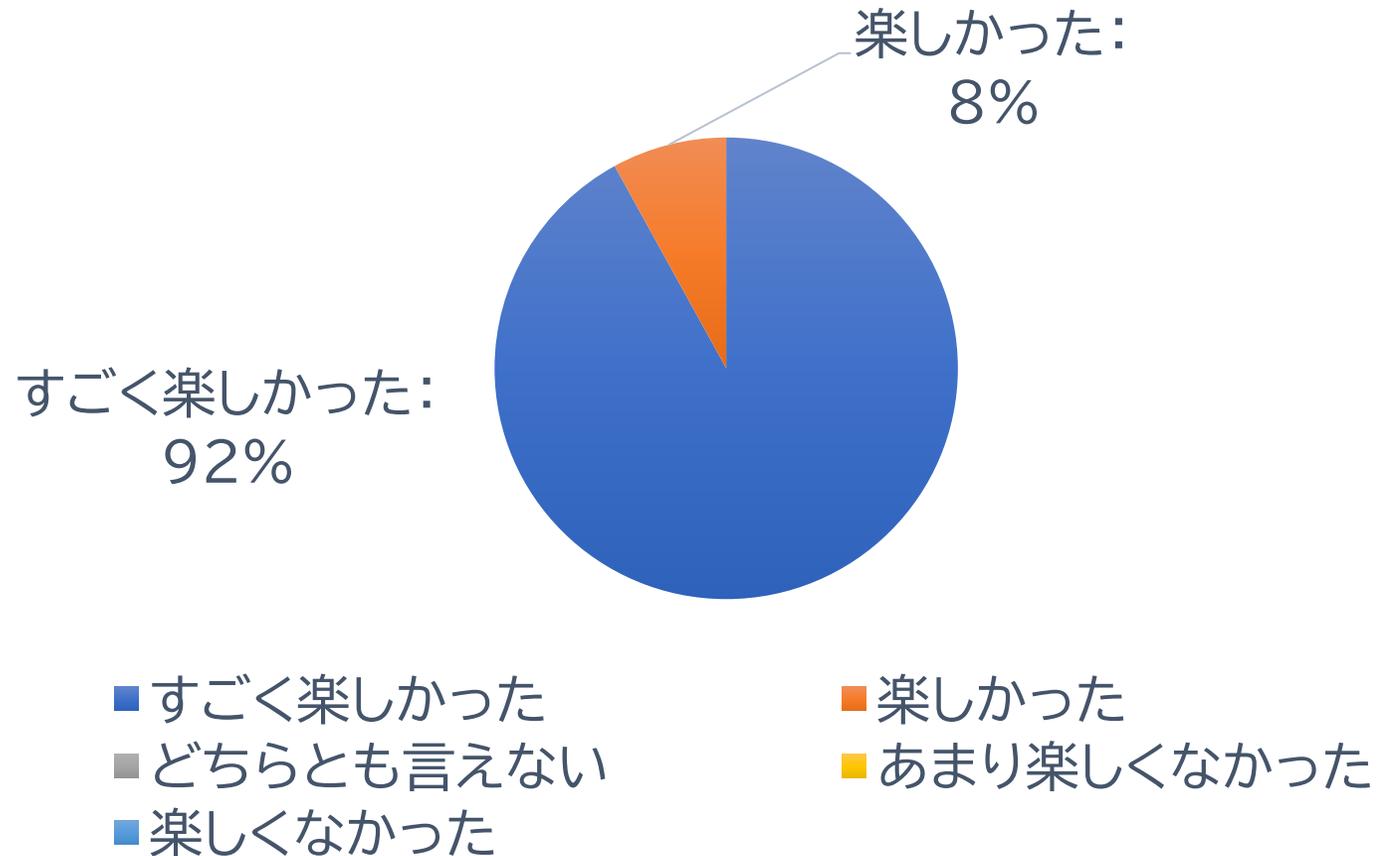
参加者人数9名増加

	参加者	人数	参加者国勢詳細
	日本語学習者	17名	アメリカ(1名) フィリピン(7名) ベトナム(3名) パキスタン(3名) 中国(3人)
	日本語話者	8名	大学生



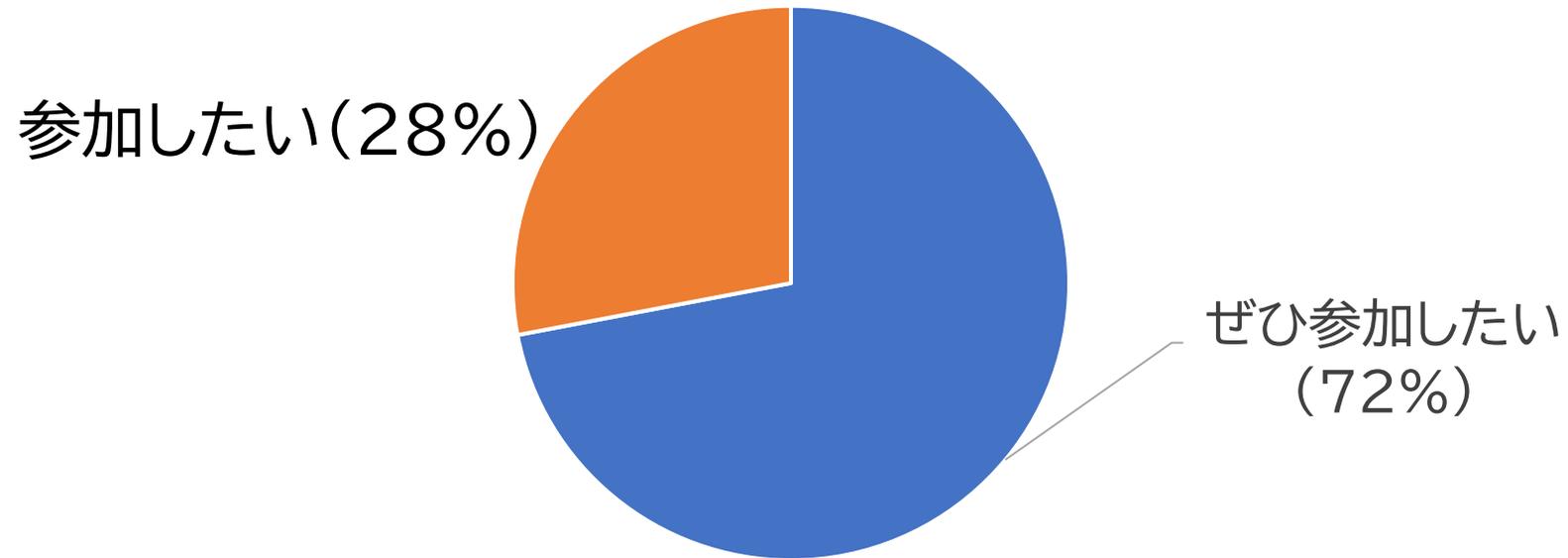
## 6. 日本語学習者 アンケート結果

Q.イベントは楽しかったですか？



## 6. 日本語学習者 アンケート結果

Q.同じようなイベントが開催された場合、参加したいですか？



- ぜひ参加したい
- 参加したい
- どちらとも言えない
- 参加したくない

## 6. 日本語学習者 アンケート結果

Q.イベントへのご意見や感想がありましたら、お書きください。

- ・「交流がとても楽しく、日本語の勉強にもなった。」
- ・「初めての人々と出会い、新たな言葉を学び、とても楽しかった。」
- ・「活動を続け、人々を笑顔にしてください。ありがとう！（^▽^）」
- ・「とても楽しく、情報に富んだものでした。」
- ・「楽しかったです。今日みんなと話をしたからうれしかったです。」
- ・「日本語で十分話すことができ、日本で生活するための知識も学べた。」
- ・「コミュニケーションに自信が持てるようになりました。」

## 7. 活動の成果

日本語学習者と日本語話者の交流の場の実現

「日本人と交流したい」という日本語学習者のニーズに応えられた

「相手に的確に伝える」ため、相手の立場に立ったコミュニケーション

日本語学習者の日本語実践の機会を設けることができた

## 7. 活動の成果



新たな友情・国を超えたつながり

## 8. 活動の反省点

1

「やさしい日本語」  
で話す難しさ

2

イベントの周知方法  
が不十分であった

3

日本語話者のイベ  
ント参加について

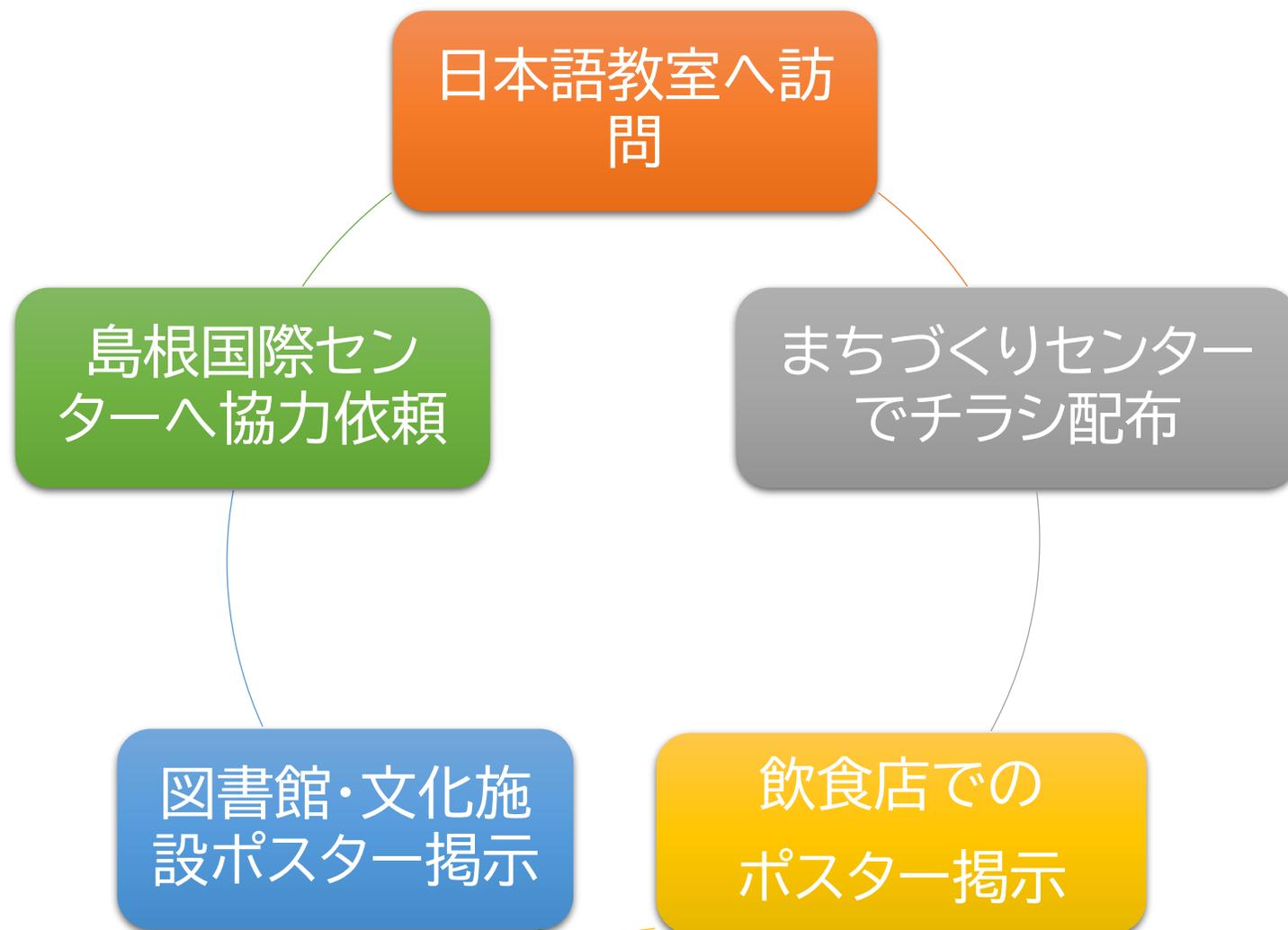
## 8. 活動の反省点

### ① やさしい日本語で話す難しさ

交流会の中で、やさしい日本語を用いようと努めましたが、言葉の言い換えがうまくできずついつい難しい表現になってしまい、参加者の方々を困惑させてしまう節が見受けられました。普段何気なく使っている日本語の表現が彼らにとって難解な表現であることがわかりました。

来年度の開催に向けて、**やさしい日本語への理解を深める**ことやスキルアップが求められます。

## 8. 活動の反省点



今後の課題  
効果的な周知方法の検討  
周知時期の検討

## 8. 活動の反省点

### ③ 日本人住民の参加について

近年、日本社会では外国人問題が取り沙汰されるようになり、外国人住民への風当たりが強くなっている風潮を鑑み、今年度の交流会は日本人住民の参加者を本学学生に限定しました。

しかし、我々の活動目的を達成するには一般の**日本人住民と外国人住民の交流が必須**です。

来年度以降は、今年度培った経験を活かし、一般の日本人住民の参加拡大を目指します。

## 9. 感想 & 今後の展望

本活動は今年度に発足したため、交流会を開催するにあたって準備から周知まで初めてのことばかりでした。その中でつまづくことも多々ありましたがその度に班員一同協力し、交流会を実現できたことに達成感を味わいました。そして交流会の中で浜田市にお住まいのご近所さんである外国人住民の方々と楽しい時間を共有できたことを何よりも嬉しく思います。

また、本活動を通して**外国人住民の方々が日本人との交流を求めている**ことを知りました。彼らの期待に応えるべく、来年度も本活動を継続し、交流の輪を広げてまいります。

内山・戸田・雨宮・永見・民木

## 10. 参考文献

島根県(2025),『多文化共生の推進』

<https://www.pref.shimane.lg.jp/life/international/kouryu/kokusai/tabunka/sousei-tabunka.html>, 2025年1月29日閲覧)

大正大学地域構想研究所(2024),『地方圏外国人集住市町村における住民調査』, 2024年1月29日.

<https://chikouken.org/wp-content/uploads/2024/01/fd71f44dc7cb0e883aad649be43c40ae.pdf>, 2025年1月29日閲覧

出入国在留管理庁(2022),『在留外国人に対する基礎調査令和3年度調査結果報告書』

<https://www.moj.go.jp/isa/content/001415908.pdf>, 2025年1月29日閲覧

東京都つながり創生財団(2023),『「やさしい日本語」とは』

<https://tabunka.tokyo-tsunagari.or.jp/yasanichi/about.html>, 2025年1月29日閲覧

# ありがとうございました

国際関係学部 国際関係学科

国際関係コース

雨宮和佳奈 内山晶太 戸田莉生

国際コミュニケーションコース

民木 優 永見由奈